



2026 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 ブリッジインターナショナルグループ株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 C E O 吉 田 融 正
(コード番号：7039 東証グロース)

問 合 せ 先 経 営 企 画 本 部 長 渡 部 毅
(TEL. 03-5787-3030)

2026 年 12 月期通期連結業績予想及び
剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 8 月 14 日開催の取締役会において、2026 年 2 月 13 日に公表しました 2026 年 12 月期（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）の通期連結業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

さらに、取締役会において、2026 年 6 月 30 日を基準とする剰余金の配当(中間配当)について決議し、あわせて期末配当予想につきましても下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2026 年 12 月期 通期業績予想数値の修正 (2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	8,287 ～9,160	982 ～1,086	982 ～1,086	649 ～717	180円56銭 ～199円48銭
今回修正予想 (B)	7,338	164	151	91	25円54銭
増減額 (B－A)	△949 ～△1,821	△817 ～△921	△830 ～△934	△557 ～△625	
増減率 (%)	△11.5 ～△19.9	△83.2 ～△84.8	△84.6 ～△86.0	△85.9 ～△87.2	
(参考) 前期連結実績 (2025年12月期)	8,564	873	865	536	149円24銭

(2) 修正の理由

① 売上高（前回予想：8,287 百万円から 9,160 百万円→修正予想：7,338 百万円）

売上高につきましては、主力のインサイドセールスアウトソーシング事業および研修事業において、期初計画を下回る見通しとなりました。

インサイドセールスアウトソーシング事業において、主要ターゲット層である外資系 IT 企業群がグローバル本社の方針として人工知能 (AI) 領域への投資余力を捻出するための人員削減等を発表したことに伴い、国内における営業・マーケティングのアウトソーシング予算が期初想定を超える速度で急減しており、一部の主要外資系 IT 企業 3 社の契約終了および縮小（影響額：▲620 百万円）が発生したほか、営業体制の課題等による新規および既存拡大の不振（影響額：▲549 百万円）も重なりました。

同事業はストック型のビジネス構造であるため、期初における急激な売上欠損の影響を受け、売上高は期初予想 4,915 百万円～5,433 百万円に対し 4,005 百万円となる見通しであります。

また、研修事業におきましても、顧客の新規採用数抑制に伴う新人研修の申し込み減少（▲119 百万円）に加え、AI 普及等に伴う顧客ニーズのシフトを受けた知識インプット型の公開コースの受注減（▲130 百万円）やクロスセル不振（▲174 百万円）が発生し、売上高は期初予想 2,518 百万円～2,783 百万円に対し 2,225 百万円にとどまる見通しとなりました。

② 営業利益（前回予想：982 百万円～1,086 百万円→修正予想：164 百万円）

営業利益につきましては、両事業における減収に伴う限界利益の減少が大きく影響いたしました。

特にインサイドセールスアウトソーシング事業において、主たるコスト構成である正社員人件費の比率が高く限界利益率が高い固定費型の事業構造であることから、売上減に伴う利益減少（▲1,044 百万円）が大きく影響しております。インサイドセールスの採用や管理部門のコスト等固定費削減を実施（+428 百万円）し、セグメント利益 365 百万円（前回予想 928 百万円～1,026 百万円）となる見通しです。

また、研修事業においても売上減に伴う利益減少（▲252 百万円）に加え、外部委託費用（講師料）や会場費などのインフレに伴うコスト増加や空席率高止まりによる原価率の悪化（▲58 百万円）が影響いたしました。

今後につきましては、インサイドセールスアウトソーシング事業では、営業体制の強化による新規案件獲得と既存顧客カバレッジの再構築及び、「リソースマネジメント本部」の新設等を通じた徹底的なコストコントロールと収益性の改善に努めてまいります。研修事業では、市場ニーズに対応した研修ラインナップの拡充を図るとともに、重複したオペレーションの解消などを通じて収益性の改善に努めてまいります。

現時点におけるこれらの事業環境および足元の業績進捗等を踏まえ、2026 年 12 月期の通期業績予想を見直した結果、表記のとおり修正いたします。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正について

（1）2026 年 12 月期 中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2026年 2 月 13 日)	前期実績 (2025年12月期中間)
--	-----	-----------------------------	-----------------------

基準日	2026年 6 月30日	同左	2025年 6 月30日
1株当たり配当金	42円50銭	47円50銭	42円50銭
配当金の総額	153百万円		152百万円
効力発生日	2026年 9 月24日		2025年 9 月22日
配当原資	利益剰余金		利益剰余金

(2) 2026 年 12 月期 配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回発表予想	円 銭 47. 50	円 銭 47. 50	円 銭 95. 00
今回修正予想	42. 50	42. 50	85. 00
当期実績	42. 50		
前期実績 (2025年12月期)	42. 50	42. 50	85. 00

(3) 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と認識しております。配当性向 50%以上及び、累進配当を導入し、安心して保有いただける株主環境を目指すことを配当方針としております。

このたび、上記「1. 業績予想の修正について」のとおり、親会社株主に帰属する当期純利益が減少する見込みとなったことを踏まえ、上記の方針に基づき配当予想の再検討を行いました。

その結果、期初における年間配当予想（1株当たり 95 円 00 銭）からは誠に遺憾ながら減額修正となるものの、配当方針である累進配当を維持する観点から、前年実績と同額である年間配当金 85 円 00 銭（第2四半期末 42 円 50 銭、期末 42 円 50 銭）に修正することといたしました。

当社といたしましては、引き続き事業業績の回復および成長を図り、株主の皆様への安定的かつ継続的な利益還元に努めてまいります。

※上記の業績予想および配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上